



# カイゴの仕事の Future of care work ミライ



# 広げる！介護の仕事のミライ



日本がこれから、ますます高齢化が進んでいく中でより一層、重要となるのが介護に関わる仕事です。

この介護の仕事をもっと良く、楽しくしていこうと活躍している若いリーダーが日本にはたくさんいます。

超高齢社会の日本の未来はどんなことができるんだろう？  
どんな可能性やワクワクがあるのだろう？

どんどん広がっていく  
介護の世界に関わる仕事をみていこう！

## 介護の仕事について

介護の仕事とは？



高齢になっても  
イキイキと暮らせる支援

住み慣れた地域で、自分らしくイキイキと生活することができるように、一人ひとりに合わせて、その人の暮らしを支える仕事です。その人が望んでいることは何か？ 過去どのような暮らしをしていたか？ などを考え、様々な専門職と連携し介護を必要とする高齢者をサポートします。

介護の仕事はなぜ必要？



介護サービスの利用者は増加！  
今も、今後もますます必要になる介護の仕事

介護保険サービスを利用している方は令和元年で567万人、令和2年には575万人と、年々サービスの利用者が増えています。年齢を重ねても元気で自分らしくいられるように、暮らしのサポートをする介護の仕事はますます重要になっていきます。

出典 厚生労働省：令和2年度「介護保険事業状況報告」

## 数字で見る介護の仕事



介護の市場規模は  
約**11.5兆円**

日本全体で介護のサービスを利用するために使われた金額は11兆円以上！  
今後も需要が増えていく成長産業です。

出典 令和2年度「介護保険事業状況報告」



介護職で働く人は  
**214.9万人**

介護職として働いている人は214.9万人です。全国の学校の教員数の約1.7倍の方が介護職として活躍しています。

出典 文部科学省：令和3年度学校基本調査  
内閣府：令和5年版高齢社会白書より「介護職員数の推移」(厚生労働省 令和3年度介護サービス施設・事業所調査・介護職員数)



働きやすい?!  
残業時間は  
※月約**6.4時間**

月平均の介護職の残業時間は約6.4時間と少ない分類に入ります。プライベートな時間を確保しやすい環境です。

出典 公益財団法人 介護労働安定センター：  
令和3年度介護労働実態調査介護労働者の就業実態と就業意識調査 結果報告書  
※1週間の平均残業時間数1.6時間×4週間で計算。





# あなたはミライに何をしたい？

\*超高齢社会を、なにより介護の仕事をもっと楽しく、より良い未来になるように多方面から活躍している人がたくさんいます。あなたはミライに何をしたい？

※65歳以上の人口が、全人口に対して、21%を超えると「超高齢社会」と呼ばれます。

## 日本の社会課題

高齢者の外出時に障害だと感じていることとして、「バスや電車等公共交通機関が利用しにくい」が13.4%、「バスや電車などの公共交通機関期間が未整備」5.2%と移動への不便さを感じています。

出典 内閣府：「高齢者の日常生活に関する意識調査」(平成26年)

いつまでも、元気にお出かけできる。会いたい人に会う。行きたい場所に行く。そのための社会インフラとして、自動運転バスを地域で走らせています。移動の自由を提供することで、社会参加を応援し、いつまでも元気に暮らせる世の中に貢献したいです。



移動の自由を提供し、いつまでも元気に暮らせる世の中に

佐治友基  
BOLDLY株式会社  
代表取締役社長 兼 CEO

## SNSで介護業界の魅力を広く届ける

介護あるあるや、介護体験などをYouTubeやTikTokなどSNSで発信をしています。また介護現場のリアルな問題を視聴者さんと共有しながら介護業界の魅力を広く届けるために活動しています。



介護職として活躍中！

はたつん  
介護系インフルエンサー

テクノロジーで介護したくなる社会を



排泄センサーをはじめ介護ロボット開発を通じて、テクノロジーで誰もが介護したくなる社会をつくることを目指しています！介護の楽しさをテクノロジーを通じて一緒に味わいましょう！

宇井吉美  
株式会社aba 代表取締役社長

高齢者介護を専門とし、現場実践、教育、研究と3つのフィールドで活動する介護福祉士です。「高齢者介護は人生の最後を支えるだけでなく、次世代に生きる希望を与える仕事である」として発信しています。老いを楽しめる社会にしていきたいです。

上条百里奈  
モデル  
介護福祉士  
東京大学未来ビジョン研究センター  
白梅学園大学研究員兼非常勤講師  
日本介護福祉学会評議員



介護職として活躍中！

老いを楽しめる社会へ

## 日本の社会課題

孤立死(誰にも看取られることなく亡くなった後に発見される死)を身近な問題と感じている一人暮らしの60歳以上の方は5割を超えます。

出典 内閣府：「高齢者の住宅と生活環境に関する調査」(平成30年)

## 介護を「みんなでやる」社会に



世代や障がいの有無に関わらず、みんなが日常的に関われるコミュニティを作っています。介護という課題を、「ひとり」で向き合うのではなく「みんな」でやる。そんな社会を作ります。

濱野将行  
一般社団法人えんがお 代表理事

## Happyな暮らしを問い続ける

マタニティアートから葬儀まで。多世代型シェアハウス「はっぴーの家」を中心におせっかいな不動産業を運営中。目の前で起こる困りごとを、ポジティブに面白がり、Happyな暮らしを問い続けていきます。

首藤義敬  
株式会社Happy 代表取締役



## すべての人が希望を語れる社会を実現する



介護に志を持つ若者のコミュニティの運営や、介護・福祉の採用・育成支援の事業を行っています。誰にとっても介護が身近になりつつある今、すべての人が希望を語れる社会の実現を目指しています！

秋本可愛  
株式会社Blanket 代表取締役  
KAIGO LEADERS 発起人

## 日本の社会課題

今のままでは、2025年に約32万人の介護職が不足します。

出典 厚生労働省:第8期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について

介護の魅力を若者に伝える



「地域共生社会」に向け、愛知県の学生17名で活動中です。福祉体験マッチングアプリの運営、学校での授業、イベント企画などを行っています！介護の魅力を若者にも伝えていきたいです！

鈴村萌芽  
株式会社musbun 代表取締役

# 福島県で介護職として活躍する先輩

福島県内で介護職として活躍している先輩を紹介します。  
介護の仕事の楽しさや、やりがいついて視野を広げよう！



社会福祉法人 心愛会  
特別養護老人ホーム ハーモニーハウス  
坂井あかりさん

## どんな経験も自分の糧になる仕事

現在は介護職員として、施設に入居している方の食事や入浴、排せつの介助や起床・就寝時のサポートなど、生活支援を主に行っています。元々親が福祉関係の仕事に就いていて、その姿に「人の役に立てる福祉の仕事ってカッコいいな」と憧れを持っていた私は、福祉の専門学校へ進学し、今の会社に就職しました。施設では認知症の方と接することも多いです。認知症の方って何でもすぐ忘れてしまうと思われがちですが、毎日顔を合せていると私のことを覚えてくれるんです。支援を行う中で信頼関係が徐々に築けて、話を聞いてあげるだけでも「よかった、安心したわ〜」と利用者さんが笑顔になってくれると、少なからず役に立てているのかなと嬉しくなりますね。

介護の仕事って、何をしても自分の経験値になるのが魅力だと思います。失敗しちゃったことも次に活かせばいい介護になるし、いい経験があればそれを踏まえてどんどんステップアップできる。自分自身にとっても損のない仕事かなって思います。これから私自身楽しみながら、利用者さんにも楽しんでもらえる支援をしていきたいです。



## 「ありがとう」が何よりの原動力

私は福祉科のある高校で学んだ後、現在の会社に就職しました。介護の仕事をしていてやりがいを感じる瞬間は、利用者さんの笑顔を見られること。私が介護士になって間もない頃、自分の力では起き上がれない利用者さんを一緒に支えて起こしてあげたときに、「今のすぐ楽だったわ、ありがとう」と言ってもらえて、「喜んでもらえるって、こんなに嬉しいんだ!」と感じたことを今でも覚えています。正直、介護の現場は体力的にも大変ですし、未だに介助がうまくいかないこともあります。でもその分やりがいを感じる瞬間も沢山あるし、利用者さんからの「ありがとう」や笑顔もらえるだけで、どんな大変さも吹き飛ばしちゃうんです。



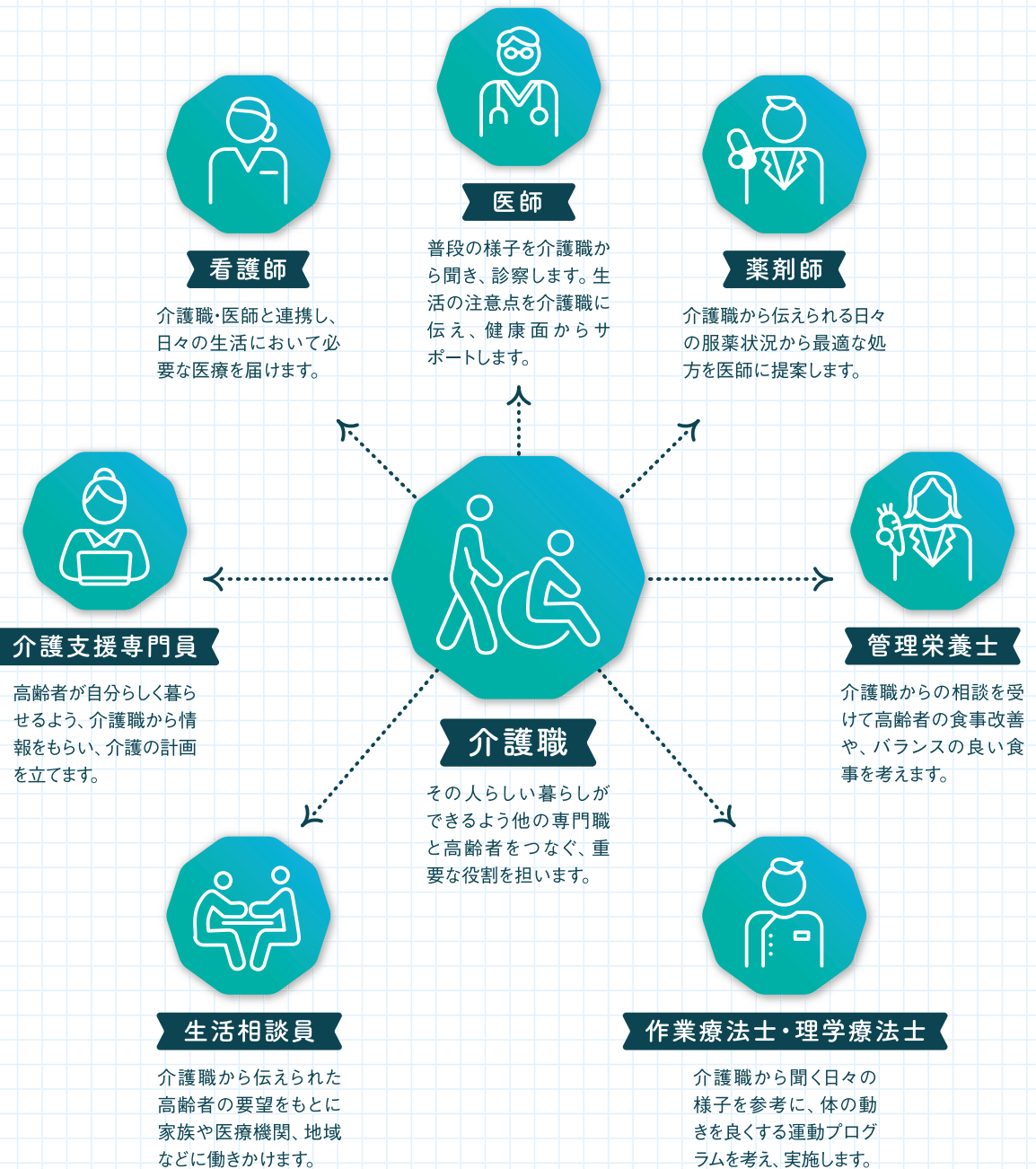
これからの目標は、利用者さんに最後の瞬間まで幸せだったと思ってもらえるような支援をすること。例えば私たちにとっては後回しにできるようなことでも、利用者さんにとってはそうではないかもしれません。なので、利用者さんの「やりたい」や「できるようになりたい」と思っていることをお手伝いしながら、幸せな生活を送れるよう支援していきたいです。



社会福祉法人 五彩会  
特別養護老人ホーム パライソごき  
桜井瑞穂さん

# いくつになってもその人らしい暮らしを支える 重要な役割を担う介護職

いくつになってもその人らしい暮らしを支えるために、たくさんの専門職が関わっています。  
介護職は中でも高齢者の暮らしを一番近くでサポートし、他の専門職をつなぐ重要な役割を担っています。  
介護職を中心とした専門職との関わりを紹介します。



介護について学ぶ  
先輩の声をきく



福島県

令和4年度第3回キラリふくしま介護賞  
(パンフレット)

介護の仕事を知る



社会福祉法人  
福島県社会福祉協議会  
7日間で分かる介護のしごと  
(パンフレット)

介護の仕事を経験する



福島県福祉人材センター  
見学・体験のできる高齢者施設  
(WEBサイト)

介護の世界を  
広げてみよう!

福島県で介護を学べる学校を知る



福島県

介護福祉士養成施設一覧  
(WEBサイト)

[発行] 令和5年7月

福島県保健福祉部社会福祉課

〒960-8670

福島県福島市杉妻町2-16

電話:024-521-7322

FAX:024-521-7917

